

ユーロ・ボンド・ポート

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ユーロ・ボンド・ポート」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、ユーロ建債券および英ポンド建債券を対象に、インカム・ゲインの確保およびキャピタル・ゲインの獲得をめざした運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2017年3月28日～2017年9月26日

第75期	決算日：2017年6月26日	
第76期	償還日：2017年9月26日	
償還日 (2017年9月26日)	償還価額	8,856.10円
	純資産総額	260百万円
第75期～ 第76期	騰落率	8.0%
	分配金合計	35円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

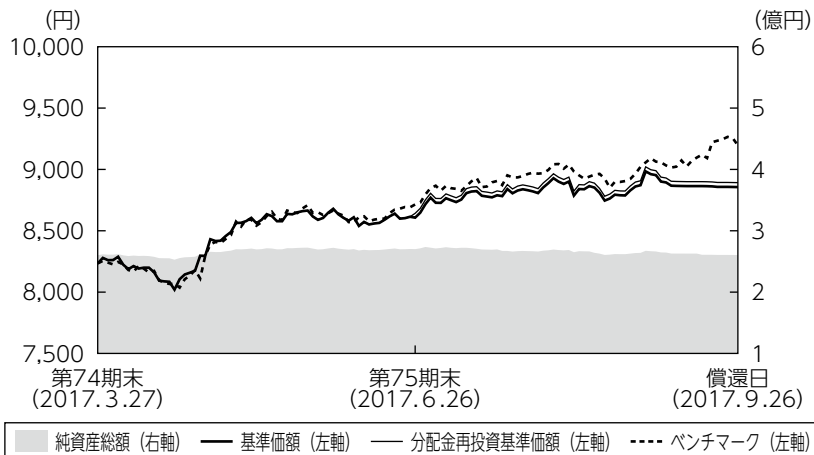
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第75期首： 8,234円
 償還日： 8,856.10円
 (既払分配金35円)
 騰落率： 8.0%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（シティ欧州世界国債インデックス（円ベース））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の〈当ファンドのベンチマークについて〉をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は前作成期末比で上昇しました。2017年初めより懸念されていたフランスなどの欧州政治の先行きに不透明感が後退したことや、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和策の縮小観測が高まったことを受けてユーロが円に対して上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

また、当ファンドは設定来で48.5%上昇しました（分配金再投資ベース、設定来の分配金4,126円）。金融危機などを受けてユーロが円に対して下落したことなどが下落要因となったものの、金融危機などを受けてリスク回避姿勢が強まったほか、ECBによるQE（量的緩和策）実施など緩和的な金融政策を受けて債券需要が高まり、投資国の債券利回りが低下（価格は上昇）したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

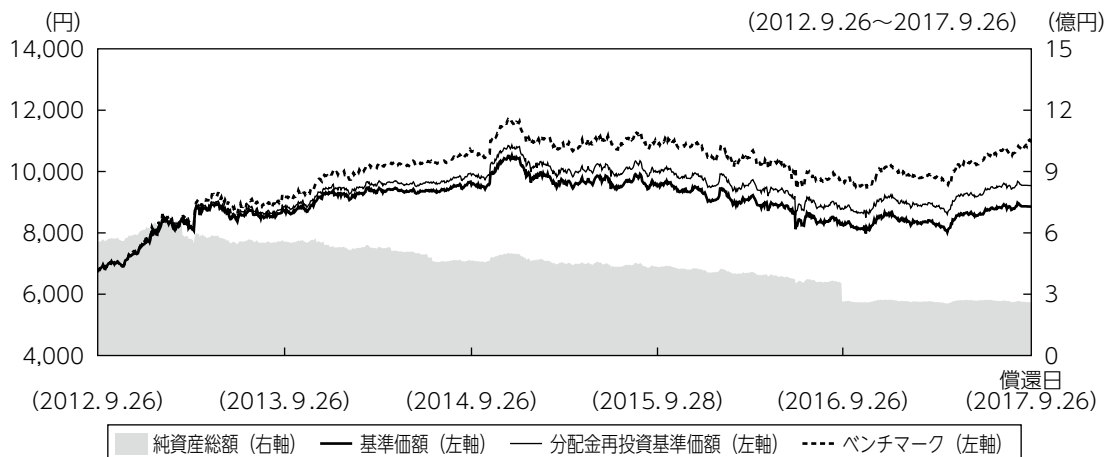
項目	第75期～第76期		項目の概要
	(2017年3月28日～2017年9月26日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	47円	0.541%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,640円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(23)	(0.271)	
(販売会社)	(21)	(0.244)	
(受託銀行)	(2)	(0.027)	
(b) その他費用	13	0.152	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(13)	(0.151)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
合計	60	0.693	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（シティ欧州世界国債インデックス（円ベース））は、2012年9月26日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2012年9月26日 期首	2013年9月26日 決算日	2014年9月26日 決算日	2015年9月28日 決算日	2016年9月26日 決算日	2017年9月26日 償還日
基準価額（分配落） (円)	6,806	8,697	9,563	9,524	8,251	(償還価額) 8,856.10
期間分配金合計（税引前） (円)	—	140	140	140	140	105
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	30.0	11.6	1.0	△12.0	8.7
ベンチマークの騰落率 (%)	—	35.0	15.9	2.6	△11.5	13.2
純資産総額 (百万円)	556	556	461	432	264	260

設定来の投資環境

欧州債券市場では、EU（欧州連合）加盟国が増加する中、1999年にユーロが誕生し、ユーロ建て国債が発行されるなど市場は拡大しました。2008年9月の米証券会社リーマン・ブラザーズの経営破綻をきっかけとした世界的な金融危機のほか、2010年にはギリシャを発端とした欧州債務危機が勃発したことでリスク回避の動きから債券需要は高まりました。また、その後、ECBにより緩和的な金融政策が実施されたことで債券需要はさらに高まり、欧州の国債利回りは大きく低下しました。

為替市場では、1999年に欧州共通通貨としてユーロが誕生して以降、ユーロ市場は拡大し、2008年7月には1ユーロ=169円台まで上昇しましたが、2008年のリーマンショック、2010年の欧州債務危機を受けて2012年7月には1ユーロ=94円台まで大きく下落しました。しかしながら、2012年以降はECBが債務懸念国への資金援助や固定金利の長期資金供給を実施したことで懸念が後退したほか、2017年以降には欧州経済に回復の兆しが見られたためユーロは対円で上昇しました。

設定来のポートフォリオについて

デュレーション^{*}については、市場環境に応じて機動的に調整を行いました。国別配分については、ドイツのオーバーウェイトを基本とし、その他の投資対象国については機動的に調整しました。

^{*}金利変動に対する債券価格の変動性。

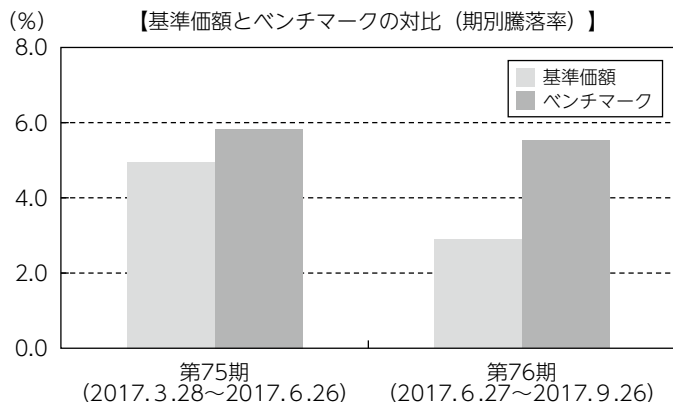
ベンチマークとの差異について

当作成期については、ベンチマークは前作成期末比で11.7%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを3.7%下回りました。格付制限から非保有となっているイタリア、スペインの国債利回りがE C Bによる金融政策を巡る思惑などを背景に低下したことがマイナスに寄与しました。

設定来では、ベンチマークは101.8%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを53.3%下回りました。ファンドの組入れの格付制限から非保有となっているイタリアやスペインなどの国債利回りの低下などがマイナスに寄与しました。



(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 当作成期における当ファンドの基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

■ 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第75期
	2017年3月28日 ～2017年6月26日
当期分配金（税引前）	35円
対基準価額比率	0.40%
当期の収益	35円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	3,243円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

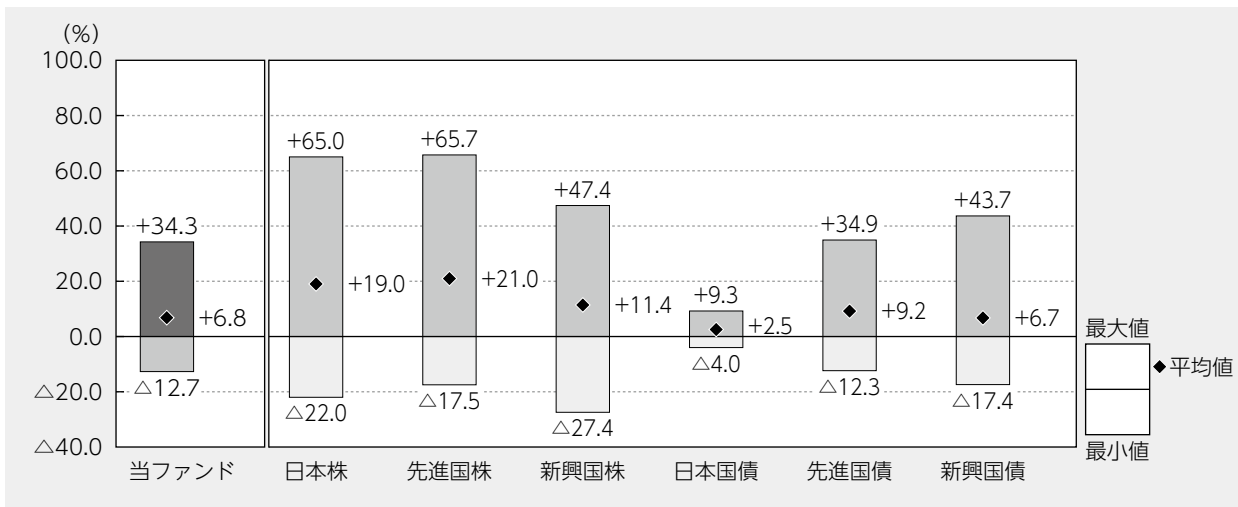
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	1998年9月30日から2017年9月26日（当初無期限）までです。
運用方針	インカム・ゲインの確保およびキャピタル・ゲインの獲得により信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
主要投資対象	ユーロ建債券および英ポンド建債券を主要投資対象とします。
運用方法	シティ欧州世界国債インデックス（円ベース）をベンチマークとします。 組入れる債券は、S & P社またはMoody's社から、短期債ではA 1ないしはPrime- 1、長期債ではA A-ないしはA a 3以上の格付けを有するものに限定します。 外貨建資産の為替変動リスクについては、円高時の損失を限定すべく、必要に応じて弾力的にヘッジします。また、対円の為替ヘッジだけでなく、ユーロと英ポンド相互間の為替リスクを調整するための為替取引を行うことがあります。
分配方針	決算日（原則として3月、6月、9月および12月の各26日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、原則として基準価額水準にかかわらず、利子・配当等収益を分配する方針です。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2012年9月～2017年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

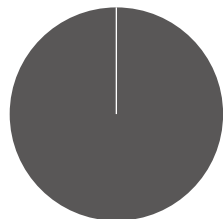
※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2017年9月26日現在）

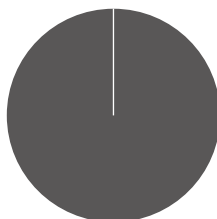
当ファンドに組入れておりました有価証券は期中に全て売却いたしました。

◆資産別配分



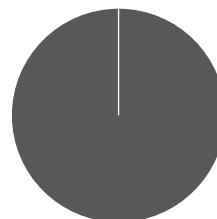
その他
100.0%

◆国別配分



その他
100.0%

◆通貨別配分



その他
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	第75期末	償還時
	2017年6月26日	2017年9月26日
純資産総額	270,035,398円	260,439,189円
受益権総口数	313,750,764口	294,079,003口
1万口当たり基準（償還）価額	8,607円	8,856.10円

(注) 第75期～償還時における追加設定元本額は2,444,448円、同解約元本額は24,319,010円です。

<当ファンドのベンチマークについて>

●シティ欧州世界国債インデックス（円ベース）

シティ欧州世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「シティ世界国債インデックス（除く日本）」は、シティグループ・インデックスLLCが開発した債券指数で、日本を除く世界主要国の国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

